



宮島ものづくり産業復興プロジェクト (廿日市市)



筏津プロジェクト (北広島町)



西国街道マンホールデザインプロジェクト (広島市)



安芸太田染織プロジェクト (安芸太田町)



柳井プロジェクト (柳井市)

観光振興による地域創生に向けた人材育成事業

大学・地域・企業 つながり通信

広島市立大学COC+ニュースレター

vol.010
 2019.3

芸術活動を通じて地域を学び アートのチカラで地域に貢献

COC+アートプロジェクト



尾道プロジェクト (尾道市)



尾道風景画プロジェクト (尾道市)



広島ピースプロジェクト (広島市)



宮島金工プロジェクト (廿日市市)



基町プロジェクト (広島市)

6地域でアートプロジェクトを展開 学生・教員140名が活動

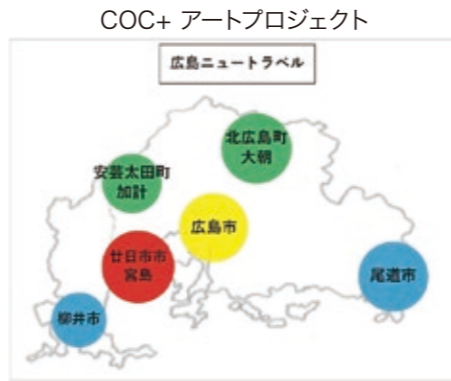
COC+の主要なプロジェクトの一つである地域でのアートプロジェクト。統一テーマを「広島ニュートラベル」とし、瀬戸内、広島市都市部、中山間地の各地域において、アート活動により人をいざない交流を進めることをコンセプトに、芸術学部が参加大学や地域と協働しながら、作品制作・展示・ワークショップ、地域活動等を行っています。全国各地で行われている通常のアートプロジェクトとは異なり、教育の一環として、学生が将来にわたって地域への関わりを持ちながら作品制作を

続けられるよう、その意識形成に重点が置かれています。

実施エリアは、2017年度の5地域に柳井市を加えた6地域で展開。柳井市では伝統行事「柳井金魚ちょうちん祭り」とコラボレーションし、提灯の新たな彩色デザインを提案しました。また、新たなプロジェクトとして、廿日市市での「宮島金工プロジェクト」や安芸太田町での「染織プロジェクト」などを実施しました。

2018年度は、6地域10のプロジェクトに、芸術学部の全10専攻の学生・教員

140名以上が活動を行い、展示会場には総数で4453人が訪れました。



実施地域	プロジェクト名	実施内容(専攻/参加学生数)
廿日市市 宮島	宮島ものづくり産業復興プロジェクト	宮島伝統産業会館での宮島糖輪の技術習得、糖輪道具と材料の研究と作品制作。サテライトハウス宮島で展示。(漆造形/6名)
	宮島金工プロジェクト	宮島の既存の観光土産品を調査し、金属素材を用いた新しいオリジナルグッズ等の提案を行う。サテライトハウス宮島で展示。(金属造形/参加学生11名)
尾道市	尾道プロジェクト	尾道と空き家テーマに作品を制作。尾道光明寺会館で展示。尾道市立大学と協働。(現代表現/13名)
	尾道風景画プロジェクト	尾道の街並みや港の風景を調査。制作の基となるスケッチを実施し作品を制作。日本画専攻アトリエで展示。(日本画専攻/20名)
柳井市	柳井プロジェクト	山口県柳井市の金魚ちょうちんを使ったオリジナル作品を制作。金魚ちょうちん祭りに合わせて柳井市西蔵に展示。(デザイン工芸学科、立体造形/44名)
広島市	基町プロジェクト	交流スペース「M98join」での学生作品展「join us Motomachi」を開催。ショッピングセンターのショーウィンドウを活用した「モトマチ・アートウィンドウ」。基町住宅の地域内外との交流の場を作る「もともちカフェ」を広島修道大学と協働。キッチンスタジオ「M98eat」で食を通じた交流を行う「グローカルキッチン」を安田女子大学と協働。
	西国街道マンホールデザインプロジェクト	広島市内中心部の旧西国街道に設置するマンホール蓋のデザインを制作。成果物を広島市下水道局に提案。(視覚造形/27名)
	広島ピースプロジェクト	NHKの特集番組「ヒバクシャからの手紙」のアニメーション映像を制作。8月と9月にNHK広島、NHK総合、NHK WORLD JAPANで放送。(映像メディア造形/6名)
北広島町 大朝	筏津プロジェクト	北広島町大朝の筏津芸術村で、地元の木材を使い神楽面をモチーフとしたトーテムポール作品を制作し、芸術村入り口に設置。(彫刻専攻/6名)
安芸太田町加計	安芸太田染織プロジェクト	グローカルキッチン：安田女子大学管理栄養学科の学生のコラボレーションイベントとして「筏津クッキング」を開催。 安芸太田の歴史や伝統をテーマにした染織作品を制作。安芸太田町のアートスペース「mm project」で展示。(染織造形/7名)

アートによる企業・地域とのコラボレーション

COC+事業協働機関の企業や自治体等の要請に応じて、芸術学部の学生、卒業生、教員の有志が課外活動として、5件のコラボレーション事業(観光事業や地域振興に資するアート活動)を実施しました。



ホテルグランピア広島ロビー壁画



安佐動物公園のサイのモニュメント

企業とのコラボレーション

(株)ホテルグランヴィア広島との協働。アートコンペ形式で学生を選出し、ホテル1Fロビーに壁画アート作品を制作。

2017年に油絵専攻が実施した「宮島双六プロジェクト」の木版画作品を、(株)ロイヤルコーポレーション社内に展示。

(株)ホテルグランヴィア広島との協働プロジェクト第2弾。広島駅新幹線口の店舗「eki spices」に壁画アートを制作。

地域とのコラボレーション

広島ニューライオンズクラブの依頼により、広島市安佐動物公園正門にサイの等身大像を銅板で制作・設置。

安佐南区沼田合同庁舎の新設にあたり、庁舎のロゴデザインを制作。庁舎式典に合わせて庁舎内にサインとして設置。

地域貢献特定プログラム

35名をプログラム修得者として認定

COC+の地域教育カリキュラムとして えた学生のうち、所定の必要単位(8単位) 2016年度にスタートした「地域貢献特定 プログラム」が3年を超過し、3年生を終 以上)を取得した35名が、初めてのプログラム修得者として認定されました。

4ページにつづく(地域貢献特定プログラムの履修状況)➡

「地域貢献特定プログラム」の認定者に聞く



尾道市での地域課題演習(右から二人目)



国際学部 中原歌苗さん

本学は地域に根差した大学ですので、入学当初から広島についての知識の修得は意識していました。「フィールドワーク論」で、広島市安佐北区をグループで調査し地域理解の方法を学べましたし、「地域課題演習」では尾道市のまちを歩き、空き家の問題に意識が向くようになりました。プログラムの一連の学習を通じて、どの地域にも魅力があることや、それを活かして生活する人々が見えるようになりました。地域には課題も多いですが、それを魅力で補ったり活性化したりする努力があり、人々の問題意識は高いと思います。産品や観光資源も人々の活動が相まって魅力として周知されることを知り、これからもそうした地域への関心を寄せていきたいです。卒論ではタイの教育制度をテーマにして、できれば大学院でも研究を続けたいと思っています。



広島市での地域実践演習(左)



情報科学部 永井隆嗣さん

もともと地図を見るのが好きで、2年生になってこのプログラムを知り、積極的に履修しました。自分にとっては興味のある科目ばかりでした。「地域実践演習」では土砂災害に対応する伝達システムを実地に学び、情報技術を活かした地域貢献が可能なのだと思感できました。「観光情報学」でGPSデータを観光振興に結び付ける作業は面白かったです。その成果を宮島で発表することもできました。プログラムを通して地域の見方や課題認識が深まったと思います。卒業研究のテーマも地域に関わるものを模索中です。大学院に進んだ後は、出身地の広島市に住んで、自分が地域社会でできることを探していきたいと考えています。



安芸高田市での地域課題演習(右端)



芸術学部 三坂笑花さん

1年生の時からプログラムを意識していました。広島や地域の科目に興味がありましたし、地域を勉強することが制作のヒントになると思ったからです。「地域課題演習」の、安芸高田市での鹿の解体ジビエ体験では、号泣しながらもおいしく食べている私がいきました。生き物の命をいただくことの意味を知りましたし、後日、鹿革のプロダクトにも参加しました。地域には様々な魅力や発展する要素があって、それをデザインの力で形にし、伝えることができると思いました。それが「地域実践演習」での広島市基町ショッピングセンターのトイレデザインプロジェクトなど地域の視点からのデザインワークに繋がっています。社会貢献に熱心な地元の会社に就職して、地方から凄いデザインを発信する、そんな仕事に関われたらと思っています。

地域志向教育カリキュラム「地域貢献特定プログラム」

2018年度には延べ1376人が履修

COC+の教育カリキュラムのベースとなる地域貢献特定プログラムは、地域志向型科目を、全学共通系科目や専門教育科目において、「広島を知る」「広島を感じる」「広島を問う」「広島に挑戦する」という4

つのステップで学習・経験できるよう、全23科目で構成しています。

2018年度からは新たに「地域実践演習」を開講し、プログラム科目の全体の履修者は延べ1376人となっています。



国際学部の専門演習(社会学)で上関町祝島をフィールドワーク

科目区分	科目名	2016年度	2017年度	2018年度
全学共通系科目	地域再生論入門	-	22	75
	創作と人間	124	136	140
	NPO論	32	54	63
	広島 of 観光学	56	73	54
	ひろしま論	229	365	355
	広島 of 産業と技術	282	232	250
	地域課題演習	-	60	54
国際学部 専門教育科目	地域再生論	-	77	21
	非営利組織論Ⅰ	-	17	19
	非営利組織論Ⅱ	-	10	9
	交通論	-	10	18
	スポーツ文化経営論	-	26	71
	フィールドワーク論	-	13	2
	経営史	-	1	17
	専門演習Ⅰ(地域実践演習)	-	-	5
	専門演習Ⅱ(地域実践演習)	-	-	4
情報科学部 専門教育科目	観光情報学	-	33	135
	インターンシップ	-	-	6
	地域実践演習	-	-	10
芸術学部 専門教育科目	アートマネジメント概論	-	38	37
	造形応用研究Ⅰ	-	0	12
	造形応用研究Ⅱ	-	-	0
	地域実践演習	-	-	19
履修者合計(人)		723	1,167	1,376

事業協働機関等

(大学等9校) 広島市立大学、広島大学、尾道市立大学、広島経済大学、広島工業大学、広島国際大学、広島修道大学、安田女子大学、広島商船高等専門学校
(自治体25市町) 広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、岩国市、柳井市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町
(経済団体・企業・NPO法人32機関) (一社)中国経済連合会、広島商工会議所、広島経済同友会、広島県経営者協会
オタフクソース(株)、(一社)尾道観光協会、呉信用金庫、(株)グリーンヒルホテル尾道、(公財)コミュニティ未来創造基金ひろしま、山陽工業(株)尾道国際ホテル、(一社)しまなみジャパン、(株)中国新聞社、西中国山地観光施設等連絡協議会、日工(株)、(株)ハイエレコン、(公財)広島観光コンベンションビューロー、(株)広島銀行、広島市信用組合、(公財)広島市文化財団、広島信用金庫、広島電鉄(株)、(株)広島東洋カープ、広島日野自動車(株)、(公財)広島平和文化センター、(株)福屋、(株)プリンスホテル グランドプリンスホテル広島、(株)ホテルグランヴィア広島、(株)ホライズン・ホテルズ ANAクラウンプラザホテル広島、マツダ(株)、(株)もみじ銀行、(株)山本屋、特定非営利活動法人キャリアプロジェクト広島、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター (企業等・NPO:五十音順)
(事業の一部を協力する大学) 比治山大学

COC+とは?

COCはセンター・オブ・コミュニティの略称。「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」は、地方への人の集積を目的に、大学・自治体・企業等が協働して、地域に定住し、貢献していく人材を育成する取組への文部科学省の補助事業。

【編集発行】 広島市立大学社会連携センター
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
TEL 082-830-1542 FAX 082-830-1555
<http://www.cocplus-hiroshima-cu.com/>

